

アクト・ノードIoTストア (store.act-node.com) で購入したセンサーは、ステップ1 (アプリ側コネクト作成) とステップ2 (センサー側送信設定) が完了した状態で出荷されます。ステップ3~5の組み立て・設置・連携設定だけで運用を開始できます。

ステップごとの役割分担

各ステップでどこを操作するのか、色分けして整理すると次のようになります。

ステップ	操作場所	目的
1	アクト・アップ	センサーデータを受信する枠を作る
2	センサー本体/センサークラウド	アプリへデータを送る設定
3	センサー本体	組み立てとデータ送信操作
4	現場	設置場所への据え付け
5	アクト・アップ	受信データの確認と記録連携

:::note

手順2の設定方法はセンサー機種ごとに異なります。各センサーの個別章 (S-01 など) を併せて参照してください。

関連する章

- **C-01** — センサーコネクトの作成 (手順 1) — アプリ側でコネクト枠を作る操作
- **S-01** — TempHawk 温湿度センサー (手順 3~5) — 機種別の組み立て・設置・連携

:::screenshot-placeholder{id="connect-C-00-flowchart" platform="pc"}

センサーコネクトの5ステップをブロック図で示した概念図。アプリ側2ステップとセンサー側3ステップを色分けし、IoTストア購入分ではステップ1・2がスキップできることを矢印で示す。PCブラウザで1280x720にて撮影、または図として作成

次のステップ

- アプリ側のコネクト枠を作る場合 → C-01 「センサーコネクトの作成」へ進んでください。
- すでにIoTストア購入分のセンサーが手元にある場合 → 対応する機種別章 (S-01 など) へ直接進んでください。